

【プロフィール】

那賀 洋子（なか・ようこ）

生年月日：1969. 5. 13

一般社団法人 筋膜美容協会 理事長
株式会社PRANA 代表取締役社長
東京と大分にてサロンを経営

シミ、シワ、ほうれい線、たるみ、くすみ、乾燥 肌トラブルを解決する『顔筋ひっぺがしメソッド』の伝道師

大分県出身。30代で老化という壁にぶつかり、高級化粧品を使うことで若返ろうとするも、かえってどんどん悪くなる肌をみて化粧品に疑問を持ち始める。その中で、**肌の自己回復力を取り戻す顔筋ひっぺがしメソッド**を独自に開発。実践したところ、みるみるうちに肌が生き返り、周囲を驚かせる。

2009年までパートの主婦で、当時の時給は750円。その後、化粧品による経皮吸収を軽減させる必要性とメソッドを多くの方に伝えたいと、地元の大分でサロンを開業。評判は口コミで広がり、2015年にはより多くの方に「真の美と健康」を伝えるために、東京・麻布十番にもサロンをオープンする。

その施術は**かなり痛みを感じる**が、その痛みの対価となる大きな効果からセレブの間にも評判が広がり、**全国各地から経営者、モデル、お医者さん**までもが男女問わず連日訪れている。

ヴァンサンカン

『美ST』（光文社）や『クロワッサン』（マガジンハウス）、『25ans』（ハースト婦人画報社）など、様々なメディアに取り上げられる。
日本テレビ『魔女たちの22時』等にも出演。

2019年6月11日には初の著書となる『マイナス15歳肌をつくる 顔筋(がんきん)ひっぺがしメソッド』（あさ出版）を上梓。

その施術姿から**デストロイヤー（破壊者）洋子**と一部から呼ばれている。



顔筋(がんきん)ひっぺがし 実施動画

<https://www.youtube.com/watch?v=eR0oPatXxUY>